

# ネットワーク社会の進展により教育はどう変わるか

## ○変わるもの

自己完結性

- ・ツール—PCとアーカイブ
- ・制度—権利制限と権利の強化
- ・内容—本物に迫る情報源

## ○変わらないもの

対面型教育

# 制度上の課題

## ○教員養成段階にない課題

- 著作権
- 肖像権
- 個人情報
- セキュリティ

# 著作権を難しくしている問題

- ・知識の不足
- ・教育は特別という意識
- ・ICTの議論が制度と技術のアンバランスを引き起こしている
- ・教育サイドの未組織化
- ・著作権法を解説する者の現実感の無さ

# 知識の不足

- ・著作権法を読まないで議論してしまう。
- ・条約違反の議論
- ・ガイドラインへの無反応
- ・自由利用マークへの無反応
- ・著作権契約書作成支援システムへの無反応
- ・日本文芸家協会への無反応
- ・試験問題集と試験問題への無対策
- ・著作権処理への予算獲得？

# 教育は特別という意識

- ・教育は無法地帯
  - ・生涯学習(ダンス)や試験問題等の裁判
  - ・国会でも教育は違法コピーが多いと問題視
  - ・ジャズ喫茶、文化ホール等も著作権料
  - ・教育は特別という枠を明示するのは教育サイド
- 各地に残る過去の映像を活用すること
- これからの映像を活用すること

# 全国団体の組織化

- ・現場の教師のモデル的な授業を実現する体制
  - ・視聴覚教育団体の要望をまとめる組織
  - ・教科ごとに必要な要望をまとめる組織
  - ・教育長協議会等の組織としての対応
- 
- ・利用者主導の事例集とガイドライン作成
  - ・教員を守る保険制度の確立
  - ・教育に著作権に関する予算
  - ・現実感のある、文化伝承が可能なネットワーク制度